



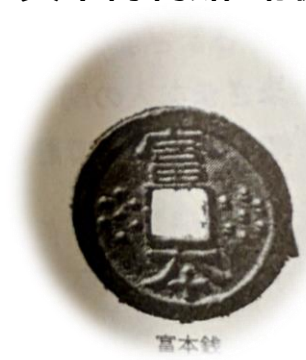
こやまの小旅



大人の社会科見学

貨幣博物館➡農水省➡東京証券取引所（東証アローズ）➡法務省

◆日銀分館の貨幣博物館（撮影禁止）◆



7世紀後半、中国の銭貨を手本に、金属のお金（富本銭）が作られました。小判は、主に金と銀の合金で作られ、金の含有率が低いものは、色付けの処理がされ品質証明の極印が打たれました。

紙幣（藩札）は、江戸時代から透かしや隠し文字を入れ、偽造防止策がとられていた。明治維新の後、貨幣制度を整え、統一通貨「円」が導入されました。

◆農水省の食堂でランチ◆



昭和がそのままの椅子とテーブルに着き、メニューも海鮮丼定食2種と単品、私は、サバの味噌煮、サラダ、ホウレンソウの煮びたし、白米の小をチョイスしました。手作りプリンもありましたが、我慢、我慢。

ここでは、地方の特産物の紹介のみで内部を見ることはできませんでした。時間があったので、近くの日比谷公園を散策して、スターバックスに入ったのですが混んでいて座る場所がなく外に…

◆東京証券取引所（東証アローズ）◆



東口玄関は風水により、良い運氣が入り天井のステンドグラスは、末広がりの扇型と金運スポットになっていますが、人の往来は余り無いと聞きました。

ガイドさん曰く、ゲン担ぎが多く使われているそうです。

商業、工業、農業のモニュメントと四体像は、株券売買立会場の跡地から受け継がれ東証アローズとして 2005 年 5 月にオープンしています。

上場の鐘は、新規上場のセレモニー（五穀豊穡で 5 回）や大発会、納会でも鳴らされます。テレビでもよく見かける光景ですね。

電光掲示板のチッカーは 4 段階の速さがあり、普段は 3 の速度で回り、取引が活発になると、4 の速さで回ります。見学中も速度が何度も変わりました。

◆法務省（撮影禁止）◆





ボアソナード

法務省
パンフレットより



江藤新平

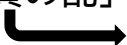
赤レンガ棟は、ドイツ人のヘルマン・エンデとヴェルヘルム・ベックマンによって明治28年、延べ面積1万㎡、3階建ての庁舎として完成しました。

関東大震災でも、殆んど被害を受けませんでした。

平成6年12月、国の重要文化財に指定されています。

外国人として、明治期の法典編さんに尽力した、フランス人法学者ボアソナードはフランスの刑法典に自説を加え、草案を作り日本人の編集委員と議論、修正を重ね刑法典を作り上げました。

江藤新平は、佐賀藩下級武士の子であったが、近代的な司法制度に向けて、尽力した初代の司法卿でした。

しかし「佐賀の乱」の首謀者にされ、皮肉にも「斬首、さらし首」となってしまいました。
 調べてね

私が、小学3年生の頃だったと思いますが、国会議事堂と皇居が遠足でした。

当時は、知識というよりも見識で記憶に残っているだけでしたが、高齢になって見学するのも面白く、発見も多くありました。

興味があれば、参考まで。

6年生 小山久仁子